



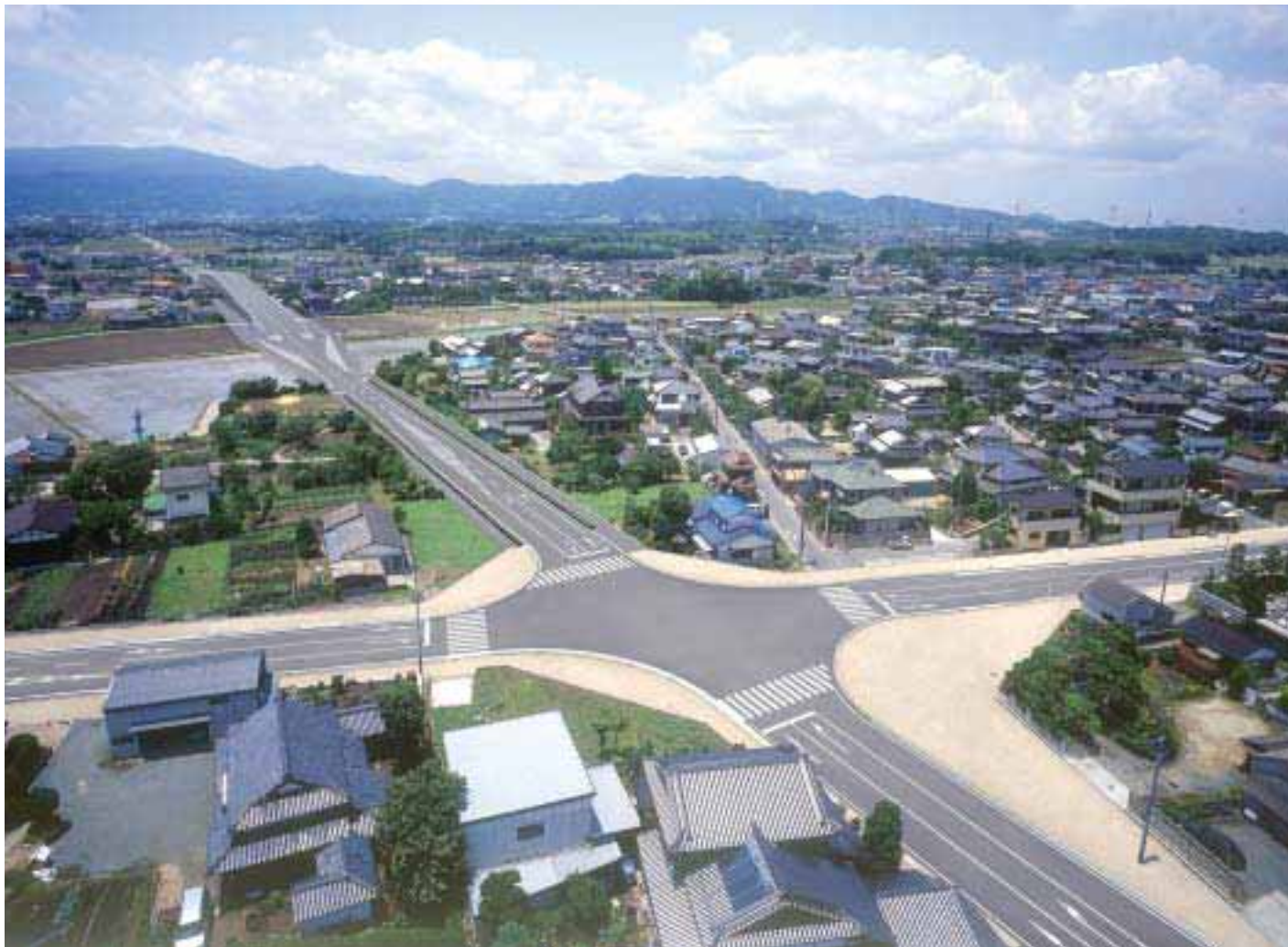
おごり

No.132

平成19年11月1日

# 議会だより

「議会だより」は、市のホームページでもご覧いただけます。(http://www.city.ogori.fukuoka.jp/)



▲ 本郷基山線（西鉄高架）完成予想図（力武より三沢方面）

## 市政の動き

### のびる都市計画道路

ただいま整備中

市政を問う 一般質問.....	3～6 P
常任委員会審査報告.....	6 P
決算審査特別委員会審査報告.....	7 P
9月定例会議案審議結果一覧.....	8 P
主な議案の内容.....	9 P
人事案件、意見書、請願・陳情、賛否が分かれた案件、編集後記...	10 P

### 9月定例会の日程

- 3日 本会議（議案上程）
- 5日 本会議（質疑、委員会付託）
- 6、7、10日 決算審査特別委員会
- 12、13、14日 各常任委員会
- 18、19日 本会議（一般質問）
- 25日 本会議（委員長報告、質疑、討論、採決）

# 市政の動き

## のびる都市計画道路

～ただいま整備中～

### 都市計画道路とは

日常生活に必要な都市の基盤となる施設で、都市計画に定められたものを「都市施設（道路、公園、下水道など）」といいます。都市施設の区域内では、将来の事業が円滑に実施できるよう建築規制が課せられています。都市計画道路は都市施設のひとつで、自動車専用道路、幹線道路、区画道路、特殊道路の4種類があります。

### 市内の都市計画道路

市内では、これまで国道、県道を含め27路線、総延長51、588mの都市計画道路を都市計画決定しており、このうち平成18年度末現在、18路線で24、017mが整備され整備率は46・6%となっています。

現在市が整備中の路線は、小郡中学校西の「三沢西福童線」があります。

また、県が整備中の路線としては、力武、三沢地区の「本郷基山線」、県種畜場跡東の「久留米小郡線」、端間駅東の「原田駅東福童線」及び端間駅南の「二森西福童線」の整備が現在進められています。

### 整備済・整備中の主な街路

#### 三沢西福童線

本線は三沢を起点に西福童に至る延長5、980m、幅員15～19mの路線です。県道鳥栖朝倉線から北へ599mは整備が完了し使用されており、現在小郡中南から国道500号線までの事業に着手しています。市の南北を結ぶ骨格的幹線道路です。



西福童より小郡中方面

#### 本郷基山線

本線は鬼川原橋から西島（佐賀県県境）に至る延長3、020m、幅員16～31・8mの路線です。現在西鉄高架区間を整備中で、力武交差点より約130mを工事中。国道500号線の渋滞緩和のバイパス的役割を担う骨格的幹線道路です。



三沢より力武方面（完成予想図）

#### 原田駅東福童線

本線は津古から端間に至る小郡の中央を南北に縦断する延長9、280m、幅員12～20mの路線です。この内、津古から大崎までは既に整備が完了し供用されており、現在未整備区間1、420mの事業に着手しています。福岡・久留米両都市圏を結ぶ南北の広域幹線道路です。



大分道高架下より北方面

#### 二森西福童線

本線は二森から西福童（佐賀県境）に至る延長1、850m、幅員15～16mの路線です。仮称新端間橋の橋脚2基と上西側の橋台が完成し、現在二森から新端間橋経由して現端間橋までの800m区間を用地買収しています。端間橋周辺の渋滞を緩和するバイパスです。



宝満川左岸より（橋却部分）

都市計画道路は、交通施設としての機能のみならず、市街地の骨格を形成し都市の貴重な空間となる重要な都市施設です。人口増加、交通量増大、市街地拡大を前提に決定されてきました。近年の少子高齢化、経済状況の変化など社会情勢が大きく変化し、必要性に変化が生じている路線もあり、今後の課題となっています。

9月定例会一般質問通告一覧表

議員名	質問内容
徳富 正夫	1 学校教育問題について
佐藤 尚武	2 1 財政について 2 環境問題について
森山 喬介	2 1 業務改革・改善について 保育料の徴収状況について
田中 雅光	3 2 1 男女共同参画条例について 2 幼児虐待防止について 3 手話通訳について
松村みやこ	1 安全安心のまちづくりについて
井上 勝彦	2 1 耐震補強について 2 放置自転車・バイク対策について
山田 忠	1 小郡市のまちづくりについて
新原 善信	2 1 教職員の心身の健康保持向上対策について 2 学校図書館の整備充実について
魚住 清文	1 安心できる後期高齢者医療制度をどのように実現するか 国保事業も助け合いの精神を潰さず 2 男女共同参画の取組みについて現状の進展状況を知らせて欲しい
成富 典一	1 地域コミュニティは地方自治の原点
稲益 理	1 子育て支援について
福田 俊雄	1 自主財源確保について

個人質問

学校教育問題について

徳富正夫議員（清和会） 学校に対する保護者からの理不尽な要求や抗議が増加し、その対応に大変苦慮していると聞きますが、小郡市の実態について、教師と保護者が対話する機会を増やす努力について、教師に改善すべき点がある場合の対策についてお尋ねします。

教育長 本市でも学校への保護者からのクレームが年々増え、複雑多様化しています。また、直接市教委や県教委へのクレームも増えています。クレームは我が子を思う故の行動と受け止め、真摯に耳を傾け、学校内部や教育委員会、関係機関との報告、連絡、相談を密に行い対応するよう指導しています。解決に至らない場合は、市の教育センターに配置していただく教育相談員やスクールカウンセラー等第三者的な立場での調整をお願いしています。今後は、管理職への研修も検討します。個々の教員の課題に応じた研

財政について

佐藤尚武議員（新風） 小郡市の財政問題について、小郡市の滞納が全然減っていませんが、財政が厳しい中、その取り組みについて、積極的に収入増を図っていくべきだと考えますが、目的外税の導入についてお尋ねします。

市長 行財政改革により、2年間で10億6千万円の財政削減効果を見ましたが、地方交付税が毎年大幅に減額されており、今後も厳しい財政運営が予想されます。本年5月に行政改革行動計画を策定し、起債事業の抑制や徹底した経費の削減、また、歳入確保として徴収体制の強化等、健全な財政確立に向けて取り組んでいきます。

業務の改革・改善について

森山喬介議員（新風） 厳しい財政状況の中、業務の改革、改善には、積極的な取り組みとスピードが必要だと考えますが、職員の行政改革、業務改善提案制度について、市民の立場から見た行政に対する改善提案を呼びかけ、参画意識を持つってもらうことについてお尋ねします。

市長 これまでも行政改革行動計画等の策定には、具体的取り組み事項の提案を求めています。また、毎年、所管事務の見直し調査の提出を求めています。新たな提案も必要ですが、今後は、この計画実現に全力を傾注し、職員の質向上や提案能力を高める研修等、職員の士気向上を図りたいと思います。

この計画の中で、重要な計画や施策の策定には、市民が市政に参画できる制度の研究を進めるようにしています。現在も市民からは市長の手紙を初め様々な場で行政改革等の提案をいただいています。今後は先進地事例も研究したいと考えています。

### 幼児虐待防止について

田中雅光議員（公明党） 児童虐待が年々増加しており、正しい認識と早期発見、早期対応が要求されています。国も、自治体内の連携強化と情報把握に力を入れた施策を打ち出しており、児童虐待の犠牲者は絶対に出不ないという強い意志での防止策と連携強化が必要だと思いますが、その取り組みについてお尋ねします。

保健福祉部長 子育ての悩み解決と児童虐待防止対策として、乳幼児家庭に対する新生児訪問事業や4カ月検診未受診者への相談指導等家庭訪問の充実を図っています。その際、育児支援チェックリスト、産後うつ質問表、赤ちゃんへの気持ち質問表等、子育ての悩みを探り、ケアしていく事業を展開しており、

18年度は20名の方をフォローしています。また、虐待の疑いがある場合は、民生委員等関係機関と連携して対策に取り組んでおり、問題が確認できれば、児童相談所への通告等も行っています。今後、本市独自のネットワークを立ち上げ、積極的に関わっていく事も考えなければいけないと感じています。

### 安全安心のまちづくりについて

松村みやこ議員 安全安心のまちづくりについて、弱者を狙う犯罪が後を絶ちませんが、女性を取り巻く犯罪の防犯対策について、子どもを取り巻く犯罪の防犯対策について、緊急地震速報についてお尋ねします。

総務部長 防犯灯の設置、防災メール・まもるくんによる犯罪情報の提供、地域防犯活動団体への支援等を行っており、防犯活動支援として本年度、小郡市防犯パトロール車を導入しました。今後、防犯対策で重要な危機意識や危険回避行動等の啓発を広報等で行いたいと思います。運用時点での伝達手段はNHKテレビとラジオだけであ

り、本市では防災メール・まもるくんに配信できるよう要望しています。今後、広報紙等での周知を考えています。教育長 学校、地域、家庭、関係機関の連携を図り、地域全体で見守る体制づくりを推進し、子どもたちの安全を確保する取り組みを進めています。また、児童生徒の非行、犯罪被害防止を支援するスクールサポーターが小郡警察署に配置されています。



小郡市防犯パトロール車

### 放置自転車・バイク対策について

井上勝彦議員（清和会） 西鉄小郡駅前を中心に放置自転車が、多く、通行の支障となっており、非常に危険です。現在の取り組みでは、放置自転車が減少していない現状がありますが、現在

行っている対策について、現状の認識について、放置ゼロを指した条例制定等新しい取り組みについてお尋ねします。

総務部長 小郡駅は高速高架下に駐輪場を設置しており、駅前の放置自転車等については駐輪指導員3名が平日の7時から9時30分まで警告書を取り付ける等指導を行っています。歩道駐輪は健常者だけでなく、車椅子や点字ブロック利用者等の障害にもなり、転倒による怪

我等、安全安心に及ぼす影響が極めて大きく、また、景観上の問題もあると認識しています。近隣市で条例等を制定しているところもありますが、駐輪場の整備等、条例制定には課題が多く、厳しいと認識しています。今後、先進地等を参考にし、放置ゼロを目指した取り組みを進めたいと考えています。



小郡駅前放置自転車

### 小郡市のまちづくりについて

山田 忠議員（新風） 本市の自主財源比率は18年度決算で46・6%と非常に厳しい財政状況で、歳出の抑制だけでは限界があり、財政の健全化を確立するには歳入増を図る必要がありますと考えますが、今後の企業誘致の見通しについて、自主財源を増やす手立てについてお尋ねします。

市長 自主財源確保が一番効果が大きいのは企業誘致だと思っています。昨年4月に商工業立地課を設置しており、交通の利便性等本市の優位性をアピールしながら積極的な企業誘致に取り組みたいと考えています。企業誘致には、土地利用等の規制が今なお厳しく、今後も久留米広域圏や筑後地域の市町村と連携して、県に対して規制緩和を強く働きかけていきます。総務部長 歳出については、市民の協力を得ながら削減を行っており、収入を増やすという観点からは、企業誘致等により自主財源を増やす事も必要であると思っています。

### 教職員の心身の健康保持向上対策について

新原善信議員（市民クラブ）  
教職員の仕事は質、量とも増加しており、労働基準法の定める週40時間労働を大幅に超えている状況があります。教職員が心身ともに健康で、効果的な教育活動が続けられる条件整備が緊急の課題だと考えますが、労働実態の把握と改善について学校現場の多忙化についてお尋ねします。

教育長 始業、終業時間の記録はしていませんが、校長には、教職員の勤務実態を把握し、健康上無理のないような指導をお願いしています。具体的な取り組みは、今後、本市で立ち上げる安全衛生委員会で検討したいと考えています。教職員の多忙化については、教育の質を向上させるといふ仕組みの中で総合的に考える必要があります。現在、学校支援ボランティアの活用や、本年から事務の共同実施による教員の負担軽減等の取り組みを行っています。また、安心して働ける職場づくりとして管理職を中心にメンタルヘルスが確保できる環

境づくりに努めます。

### 安心できる後期高齢者医療制度をどのように実現するか

魚住清文議員 高齢者を他の世代から切り離し、過酷な保険料徴収と負担増、医療切り捨てを押し付ける後期高齢者医療制度については様々な問題があり、実施の凍結と、制度の全面的な見直しが必要であると考えますが、市長は後期高齢者医療広域連合の議員として、どのような見解を持っているのか、どのような取り組みが必要だと考えているのかについてお尋ねします。

市長 制度が創設された背景には急速な少子高齢化の進展、老人医療を中心とした国民医療費の増大等、医療保険を取り巻く大きな環境変化があり、世界に誇れる我が国の国民皆保険制度を堅持するために、老人医療制度の改革はやむを得ないと考えます。福岡県でも広域連合が設立され準備作業が行なわれていますが、今回の医療制度改革には議論もあるので、広域連合の議員として、後期高齢者医療制度が高齢者にとってより良

いものになるよう努力したいと考えています。



検診風景

### 地域コミュニティは地方自治の原点

成富一典議員（清和会） 地域コミュニティは地方自治の原点であり、各自治公民館活動が独自に計画、実行され、地域住民の連携と和を積極的に進めることで素晴らしい地域づくりが進んでいくのではないと思いますが、区民を巻き込んだ地域コミュニティを高める活動についてお尋ねします。

市長 地域の重要な役割を担う自治公民館活動を活発化させ、相互の連携強化を図ることが、地域コミュニティを高める上で重要なことであると考えます。本市では小郡市自治公民館連絡協議会を設置しており、自治公民館長を対象とした研修会、先進地視察、交流会等を行い、資

質の向上と校区内の連携強化に努めています。また、公民館活動の事例を広く紹介し、市内全域に広げていきたいと考えており、地域コミュニティの体制づくりとして、校区公民館職員や地域活動指導員を積極的に地域コーディネートとして地域運営に取り組ませ、地域コミュニティの充実、発展に努めたいと考えています。



地域コミュニティ活動（お手玉遊び）

### 子育て支援について

稲益 理議員（公明党） 核家族化の進行、近隣関係の希薄化等、家庭や地域における子育て力の低下は著しく、親の育児負担感が増大しています。そこで子育て支援の一環として、また、経済的負担を軽減することを目的として、紙おむつを使用する子育て世帯への有料指定ごみ袋の無料支給制度の導入についてお尋ねします。

清水環境経済部長 本市で仮に実施した場合、一歳未満の乳児がいる世帯が500世帯あり、月10枚配布したとして、年間180万円程度の費用が必要になります。有料指定ごみ袋制度については平成10年9月、受益者負担を基本に導入しており、無料制度と受益者負担制度の原則、ごみの減量化という目的を考えると現時点での無料化は難しいと判断しています。

市長 子育て支援は重要な課題であり、本市でも子育て環境づくりへの取り組みを行っています。ごみ袋の無料化については他市の状況も見ながら今後の検討課題とさせていただきます。

### 自主財源確保について

福田俊雄議員（清和会） トップセールスマンとして宮崎県の東原知事が素晴らしい活躍をしています。本市のトップセールスマンである市長は、どのような仕事をしてきたのか、本市をPRするためには戦略を練り、計画性を持って進めていくことが必要だと思いますが、そのための営業部の創設についてお尋ねします。

### 総務文教常任委員会報告

市長 市政運営にあたっては、経営感覚に立脚した市政運営、事業の選択と集中、市民との協働を基本理念にまちづくりを行なっています。今、企業誘致を推進するために、県の副知事をはじめ、色々な分野で積極的な情報収集や要望、陳情活動等を行なっており、皆様に積み重ねてきた成果を示せるよう取り組みを進めています。また、地域への市政報告会や出前講座等積極的に対話を進め、取り組んでいます。本市の魅力を売る、魅力をつくっていくという意識を持って、関係部がみずから企画、営業することが大事だと思いますので、大きなプロジェクトがある場合は、それに添った機構改革も行なっていくとと考えています。

### 小郡市議会会議録の閲覧ができます。

小郡市のホームページから、平成18年5月以降の市議会会議録が閲覧できるようになっております。  
なお、平成19年9月の市議会会議録は、11月下旬頃から閲覧できる予定です。

数の推移について。  
答：生徒数は24年度に千人を超え、現在より3クラス増の31クラスになると予想しており、その後は減少していくものと見込んでの今回の計画である。

### 環境福祉常任委員会報告

環境福祉常任委員会は、9月13日に開催され、付託を受けた執行部提出議案3件(分割付託1件を含む)及び陳情1件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。  
一店逸品運動推進事業補助金について(議案第43号)  
商工会が実施するこの事業の総事業費327万6千円のうち100万円を市が補助するもの。  
問：この事業に関するアンケート結果について。  
答：この運動の企画については、大変良い59・6%、良い29・8%、普通1・8%どちらでもない0・4%と利用者に一定の評価をいただいている。  
高齢者健康づくり事業について(議案第45号)  
特定高齢者施策事業として、介護状態になる恐れのある方を

対象にした予防施策で、委託料270万6千円の増額補正をするもの。  
問：この事業のカウンセリングの対象者の見込数について。  
答：栄養口腔、運動機能、うつ予防の3教室を実施する予定で、うつ予防対象者は約25名、運動機能対象者は約50名を考えている。いかに対象者に参加が重要だ。

### 都市建設常任委員会報告

都市建設常任委員会は、9月14日に開催され、付託を受けた執行部提出議案2件(分割付託1件を含む)及び陳情1件の審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。  
下水道整備について(議案第46号)  
下水道整備費の工事請負費1、850万円を設計委託料に組み替えるもの。  
問：下水道への接続状況について。  
答：マンション等の大口は訪問してお願しているが、まだ370件が未接続です。

請願・陳情  
どなたでも、市政などについて、直接市議会に意見や要望ができる制度です。議員の紹介のあるものを請願、紹介のないものを陳情といえます。

提出方法  
1、請願(陳情)の趣旨、請願(陳情)の項目、提出年月日、提出者の住所・氏名(法人の場合はその名称・代表者の氏名)を記載し、押印をしてください。  
2、請願は、紹介議員1名以上の署名もしくは記名押印が必要で

提出時期  
随時受け付けていますが、各定例会での審議には受付締切があります。詳しくは、議会事務局へお尋ねください。

審議結果  
本会議での結果は郵送で回答いたします。



# 決算審査特別 委員会報告

平成18年度決算の認定議案（認定第1号から第7号）が市長から議会に提案されました。議会では、20名全員で構成する決算審査特別委員会を設置し、9月6日、7日及び10日の3日間で審査を行いました。主な審査内容を一部報告します。

## コミュニティバスの運営について

問：効果的、効率的な運行の検討が必要ではないか。

答：多くの方から意見を聞くことも大事だが、取りまとめが難しいので基本的に区長からの要望で対応したい。バス乗降客からの意見聴取は検討したい。

## 合併浄化槽設置事業について

問：18年度設置数と今後の補助額の増額について。

答：申込みは多いが国、県の補助枠があり、22基分に補助した。財政も厳しい状況だが国、県に増額を要望していきたい。

## 雑草等除去対策について

問：私有地で雑草除去がなされない場合の対策はどうしているか。

答：雑草除去されなかったものが16件ある。行政代執行は難しく、電話、はがき等で繰り返し指導している。



宅地の雑草除去作業

## 国民健康保険事業について

問：調剤の額が伸びてきている。ジェネリック薬品使用の取り組みについて。

答：患者がジェネリック薬品使用を医師に申し出しない限り医師から使用の指示はできない。薬品会社のCMもあるが、患者の認識を広めるため、市広報等でのPRも検討したい。

問：歳出の削減について、抑制対策と効果は。

答：多受診・重複受診者には保健指導している。医療費の削減は一朝一夕には出来ないが、健康課、介護保険課とのプロジェクトチームの中で協議し、先例も取り入れて削減に努めていきたい。

## 水田農業経営確立対策事業について

問：大豆の集団化への補助金の効果について。

答：15年度から16年度にかけて総団地化面積は落ちてきているが、その後順次増加している。大豆生産は県内6位となっており、事業効果は出きている。

## 公園管理について

問：遊具等で事故が起きているが、計画的に修繕しているのか。

答：日常の点検を従前より多くしている。今後、全公園の遊具の耐用年数、破損状況を細かくチェックし対応する。専門技術が要らない修理は職員で行っている。

## 市営住宅について

問：家賃滞納の状況と取り組み

みについて。

答：18年度収納率98・5%、滞納者は12名、滞納額は109万8千円。滞納者へは電話催告、納付通知や年4回の戸別訪問を行っている。

## 下水道事業について

問：今後の事業の方向性について。

答：18年度普及率82・8%で宝満川流域は整備が終わっている。筑後川中流右岸流域は、現在、宝城団地を整備中で、味坂と立石校区がまだ未実施。今後相当の遅れが見込まれるので全体計画を含めて見直しも検討したい。



下水道工事（宝城団地内）

## 小学校校舎大規模改造事業について

問：大規模改造にあたって学校と十分打ち合わせをしているか。

答：設計の段階で学校側の意見を十分聴きながらやっているし、今後もやっていく。

## 東野校区公民館整備事業について

問：住民はコミュニティ施設としての認識が薄い様で、地域の利用が少ない。どう住民にPRしてあるのか。

答：4月から7月までの利用者は5、549人で6月2、201人、7月1、911人となっており、年間2万人を超える見込み。利用の周知は市広報などで行いたい。

## 自校方式学校給食について

問：味坂小学校が自校方式になって1年経過したが経営面の検証結果はどうなっているのか。

答：配送業務については、距離が少しは減ったがガソリン代高騰のため、金額は変わらなかった。人件費については、小規模校のためコストにはつきり現れていない。

## 9月定例会議案審議結果

議案番号	事 件 名	審議結果
第43号	平成19年度小郡市一般会計補正予算(第2号)の承認について	可 決
第44号	平成19年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)の承認について	可 決
第45号	平成19年度小郡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)の承認について	可 決
第46号	平成19年度小郡市下水道事業特別会計補正予算(第1号)の承認について	可 決
第47号	福岡県市町村職員退職手当組合理約の一部変更について	可 決
認定第1号	平成18年度小郡市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第2号	平成18年度小郡市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第3号	平成18年度小郡市老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第4号	平成18年度小郡市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算認定について	認 定
認定第5号	平成18年度小郡市介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算認定について	認 定
認定第6号	平成18年度小郡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定第7号	平成18年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
同意案第2号	小郡市固定資産評価審査委員会委員の選任について(草場小夜子)	同 意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について(堤一彦)	同 意
議員提出第4号	特別委員会の設置について(大型商業施設誘致に関する特別委員会)	可 決
委員会提出第2号	JR不採用問題の早期解決を求める意見書の提出について	可 決
請願第4号	ILO勧告に基づきJR不採用問題の早期解決を求める意見書の採択を求める請願について	採 択
陳情第4号	資源回収奨励金交付廃止を求める陳情	継続審査
陳情第5号	福岡県都市計画道路の早期見直しに関する陳情	継続審査



## 主な議案の内容

平成19年度小郡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）の承認について（議案第44号）

平成18年度の医療費等の国庫負担金等が確定したことに伴う、国庫支出金等返還金2、491万2千円の増額補正や前年度の繰上充入金2、676万6千円の減額補正などで、歳入歳出それぞれ657万7千円を減額し、予算総額を61億3、324万6千円とするもの

福岡県市町村職員退職手当組合規約の一部変更について（議案第47号）

退職手当組合の議会の議員の選挙区及び定数に関する規定を変更するもので、9選挙区を5選挙区に変更し、また、これまでは各選挙区ごとに市町村長側から1名、市町村議会議長側から1名出ていたものを、4選挙区が長及び議長各2名に、1選挙区が長及び議長各1名に変更するもの。

平成18年度小郡市一般会計歳入歳出決算認定について（認定第1号）

歳入決算額154億2、219万7千円で対前年比7.0%減、歳出決算額152億7、125万円で対前年比6.7%減。歳入歳出差引額は1億5、094万7千円の黒字、実質収支額は1億4、122万7千円の黒字。

平成18年度小郡市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第2号）

歳入決算額50億3、029万9千円で対前年比8.4%増、歳出決算額52億7、053万2千円で対前年比9.9%増。歳入歳出差引額は2億4、023万3千円のマイナスで、この赤字分は、19年度から繰上充用する。

平成18年度小郡市老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第3号）

歳入決算額52億1、119万6千円で対前年比1.3%減、歳出決算額52億4、524万9千円で対前年比3.0%減。歳入歳出差引額は3、405万3千円のマイナスで、この赤字分は、19年度から繰上充用する。

平成18年度小郡市介護保険事業特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算認定について（認定第4号）

入歳出決算認定について（認定第4号）

歳入決算額26億779万7千円、歳出決算額24億6、676万8千円、歳入歳出差引額は1億4、102万9千円の黒字、実質収支額は1億4、006万3千円の黒字。

平成18年度小郡市介護保険事業特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算認定について（認定第5号）

歳入決算額1、090万5千円、歳出決算額1、058万1千円、歳入歳出差引額は32万4千円の黒字。



平成18年度小郡市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第6号）

歳入決算額20億594万3千円で対前年比7.8%減、歳出

決算額20億500万8千円で対前年比8.0%減。歳入歳出差引額は93万5千円の黒字。

平成18年度小郡市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定第7号）

歳入決算額910万2千円で対前年比39.1%減、歳出決算額95万7千円で対前年比86.9%減。歳入歳出差引額は814万5千円の黒字。

### 大型商業施設誘致に関する特別委員会

9月議会において、大保地区に大型商業施設を誘致することを調査研究するために、大型商業施設誘致に関する特別委員会が設置されました。

委員長	吉塚 邦之
副委員長	佐藤 尚武
委員	新原 善信
山田 忠	松尾 昌弘
徳富 正夫	井上 準一
赤坂 博則	稲益 理
魚住 清文	

公職選挙法では、政治家が選挙区内の人に對し、次のような行為をすることは禁止されています。また、有権者が寄付を求めるとも禁止されています

- 入学・卒業・就職・出産などの祝いに金品を贈ること
- 病气見舞いに金品を贈ること
- お歳暮やお中元を贈ること
- 葬式の花輪・供花を贈ること
- お祭りの時にお金を寄付したり、お酒を贈ること
- 議員が年賀状等のあいさつ状を出すこと（答礼のための自筆によるものは除く）



人事案件

「固定資産評価審査委員会委員」

小郡市三沢4188番地

草場 小夜子

「人権擁護委員候補者」

小郡市小郡2223番地17

堤 一彦

請願・陳情

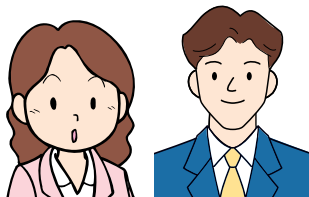
採択

ILO勧告に基づきJR不採用問題の早期解決を求める意見書の採択を求める請願について  
 請願者 国鉄労働組合鳥栖地区闘争団  
 団長 寺崎 憲行

継続審査

資源回収奨励金交付廃止を求める陳情  
 陳情者 芳野 弘  
 陳情内容 小郡市資源回収奨励金交付規程に基づき市が行っている小郡市環境衛生組合連合会への奨励金交付の廃止を市に要望するもの。  
 福岡県都市計画道路の早期見直しに関する陳情  
 陳情者 小林祥彦/小林哲三  
 陳情内容 福岡県都市計画道路を早期に見直すこと 大保・野口線を都市計画道路の決定から早急にはずすこと、以上を早期に取り組みよう市に要望するもの。

意見書



JR不採用問題の早期解決を求める意見書の提出について  
 (委員会提出議案第2号)  
 国鉄が分割・民営化される過程で発生したJR不採用問題は未だに解決されておらず、社会的、人道的問題となっている。関係者は責任をもって問題解決に全力を傾注し、この問題の早期解決を図るため、積極的に取り組むことを、国に対して求めるもの。

議会を傍聴しましょう

次の定例会は

12月上旬に開かれます。

議会は、誰でも傍聴できます。議会を傍聴して一緒に市政を考えましょう。

◆定例会議は、年4回、3月、6月、9月、12月に開催されます。

◆次回12月議会は、12月上旬に開催される予定です。

◆議員による、市政全般に関する市長等への質問(一般質問)も行われます。

◆議会の日程や質問事項は、市のホームページで公表しています。

議会の日程などについての問い合わせは、市役所議会事務局(七二二二二二内線六一二)まで。

賛否が分かれた案件

議員名	成富 一典	福田 俊雄	田中 雅光	新原 善信	井上 勝彦	松村 みやこ	山田 忠	吉塚 邦之	田中 登志雄	佐藤 尚武	松尾 昌弘	多田 幸弘	徳富 正夫	廣瀬 勝栄	井上 準一	赤坂 博則	森山 喬介	稲益 理	魚住 清文	
案件																				x
平成18年度小郡市一般会計歳入歳出決算認定について																				x

編集後記

今議会が平成18年度決算審査を行いました。本市の財政状況は益々厳しさを増しております。税制改正に伴い、市民税関係が多少増収になったものの、ここ数年地方交付税が削減され、「三位一体改革」地方交付税制度、補助金、税源移譲の見直しがすみやかに実施されていませぬ。地方自治体の自立には、税収格差の是正と権限、税源の移譲が望まれます。

議会は行政のチェック、決機関だけでなく、プロフェッショナルな機能の確立も必要な時代であると考えます。地域住民のニーズに沿った効率的行財政改革に、市民の皆様のご理解とご協力を仰ぎながら、真剣に取り組んでまいります。

歳入増を何に求めるのか、大きな課題に向かって鋭意努力し、住民サービスの向上に努めます。

議会報編集委員会

(幸)

- 委員長 山田 忠
- 副委員長 井上 勝彦
- 委員 福田 俊雄
- 委員 田中 雅光
- 委員 新原 善信
- 委員 多田 幸弘